

決算説明資料

2018年3月期

JASDAQ

Listed Company 4241

2018年5月
株式会社アテクト

2018年3月期業績総括

JASDAQ

Listed Company 4241

全社連結業績

atect

(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	前年度比(%)
売上高	2,483	2,669	7.5%
売上総利益	1,214	1,291	6.3%
	48.9%	48.4%	
営業利益	181	160	△11.4%
	7.3%	6.0%	
経常利益	137	109	△20.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	82	61.7%

売上高7.5%増収、売上総利益額は過去最高を更新

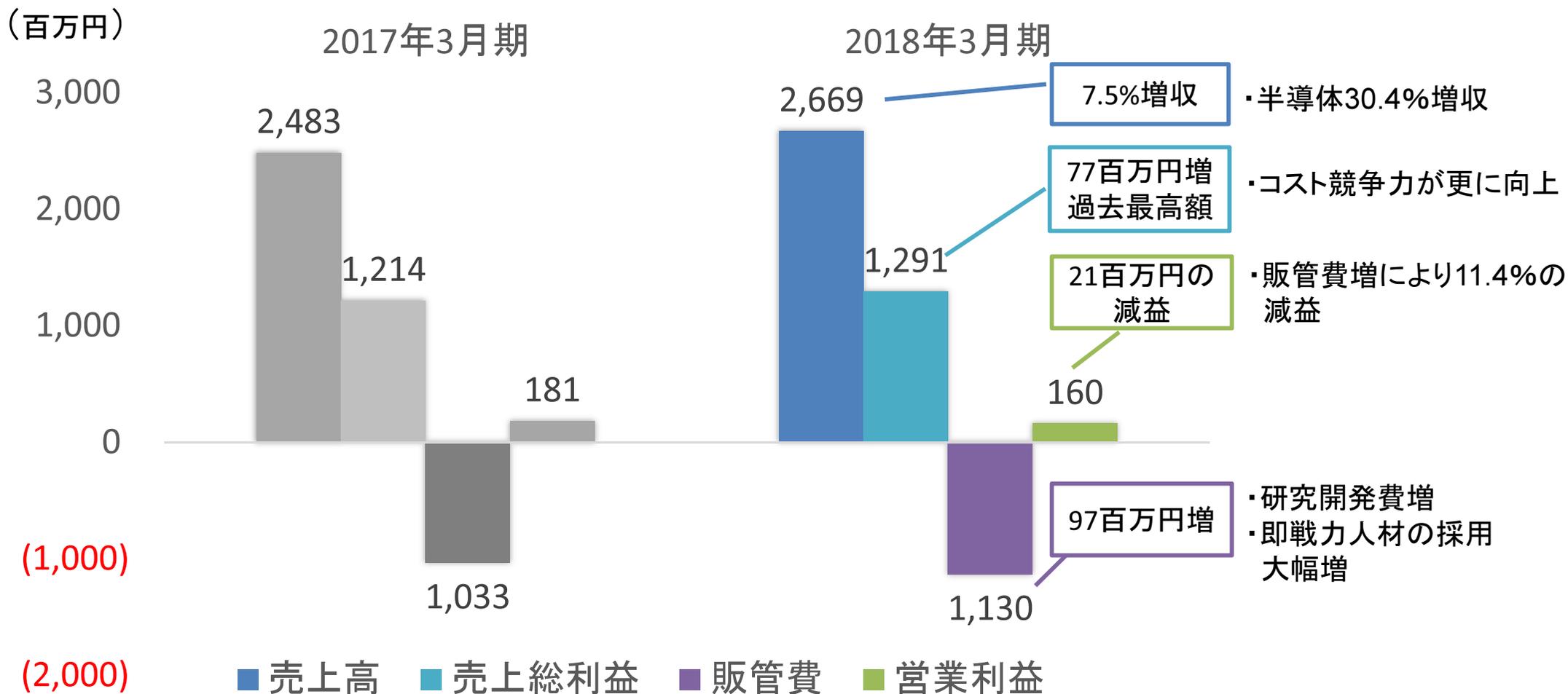
セグメント別業績

(百万円)

	半導体資材事業			衛生検査器材事業			PIM事業		
	2017年 3月期	2018年 3月期	増減	2017年 3月期	2018年 3月期	増減	2017年 3月期	2018年 3月期	増減
売上高	821	1,075	30.9%	1,559	1,527	-2.1%	117	70	-40.4%
売上 総利益	370	517	39.8%	779	740	-5.0%	64	32	-49.3%
	45.1%	47.7%	-	50.0%	48.1%	-	54.7%	59.4%	-
営業利益	32	68	111.1%	106	77	-27.3%	42	14	-65.7%
	4.0%	6.4%		6.8%	5.1%		35.9%	20.7%	

半導体資材事業が大幅に増収(30.9%)、営業利益は2倍以上

2018年3月期収益分析(サマリー)



売上総利益額1,291百万円(77百万円増)は過去最高となったが
販管費の増加(97百万円)により営業利益は160百万円となった

- 次世代ガソリンターボエンジン用ノズルベーン (Variable Geometry) の量産を見据え、国内大手ターボメーカーのドイツ自動車規格であるVDA6.3のポテンシャル監査に合格
完全に承認されたサプライヤー(候補)として認定
- セラミックスボールベアリングにおいて、耐久試験実施に要求される残された2点のスペックを満足させるための最終試作を実施。
新年度半ばを目標に軸受けメーカーによる耐久試験をクリアすべく、新成形システム及び新材料(新開発バインダー)での試作準備が完了
- EV用パワーデバイスセラミックスセパレーター(窒化ケイ素製)について、当第4四半期に国内大手自動車メーカーから試作金型を正式に受注し、曲げ強度700Mpa、熱伝導率70w/mk(通常窒化ケイ素は30w/mk)をクリア

- 滋賀本社工場移転直後のテレマーケティングスタッフの人材確保が不十分であったことから、当連結会計年度の売上高は32百万円(前期比2.1%減)の減収
- シャーレ製造においてグループ内で最も進んでいたIoTからの情報を駆使し、個々の設備の異常有無、センサーデバイスの追加によるインライン滅菌条件の最適化など、稼働率、歩留まり改善、生産時間の大幅短縮が可能となり、旧本社工場比で1.4倍の生産体制を確立
- 現在では職場環境の改善と現地での正規雇用を積極的に進めた結果、予定人員の採用にメドが立ち、今後は新規顧客獲得件数を確実に増加させる

- 液晶テレビの世界需要は年率約3%のプラス成長となる中、当社スぺーサーテープを2倍以上消費する4Kテレビの比率が3割を越えてきたことで、出荷数量は前年同期比26.1%増、売上高で30.9%増と大きく伸張
- 新年度以降も4Kテレビの比率拡大とスぺーサーテープを従来比4倍以上消費する有機ELテレビの量産も本格化することから、ここ数年は確実に成長が続く見込み
- 生産性向上プロジェクト(タクト・稼働率・歩留)を設置し、投資をせずに20%の生産性向上を目指し、中長期的に想定を大幅に上回る受注に対応する

2019年3月期（第50期） 業績見通しについて



Listed Company 4241

新工場を含む将来の拡大成長に向けた整備（投資・人員増）が完了
好調な半導体資材事業を軸に、全セグメントにおいて増収増益を図り
確固たる経営基盤を構築する

営業利益率10%の早期実現と財務基盤の強化

実現に向けた機構改革を実施

- 従来の製造本部及び営業本部を解体し**事業統括本部**を新設
⇒全事業部の販売から製造までを一元管理
- 経営改革本部**新設、以下の2部門を設置
経営企画部：財務基盤強化に向けた中長期的経営戦略の立案
営業戦略企画部：新規顧客開拓（PIM事業及び衛生検査器材事業）

第50期事業計画

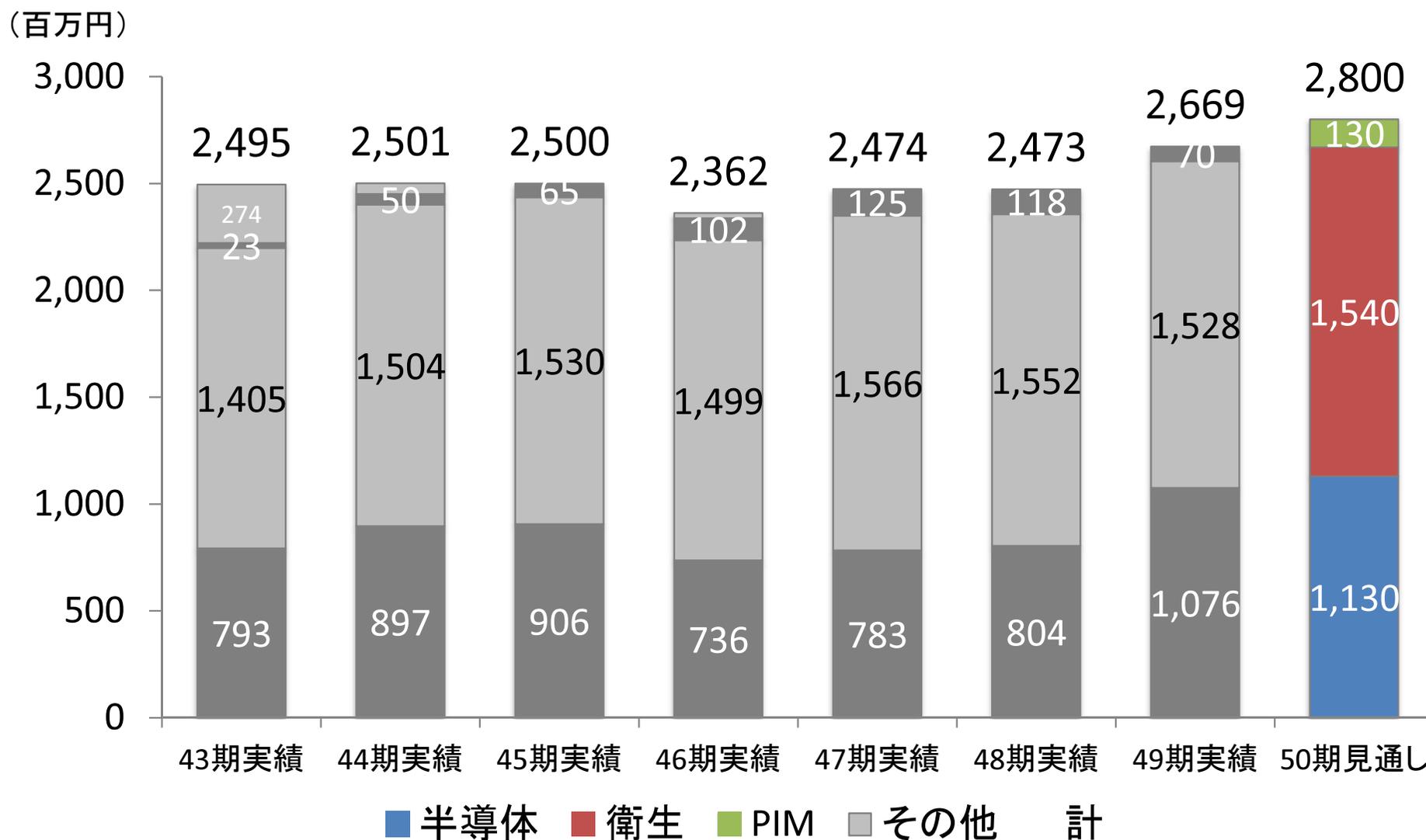
atect

(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減(%)
売上高	2,669	2,800	4.9%
営業利益	160	230	43.3%
	6.0%	8.2%	
経常利益	109	200	82.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	82	120	45.4%

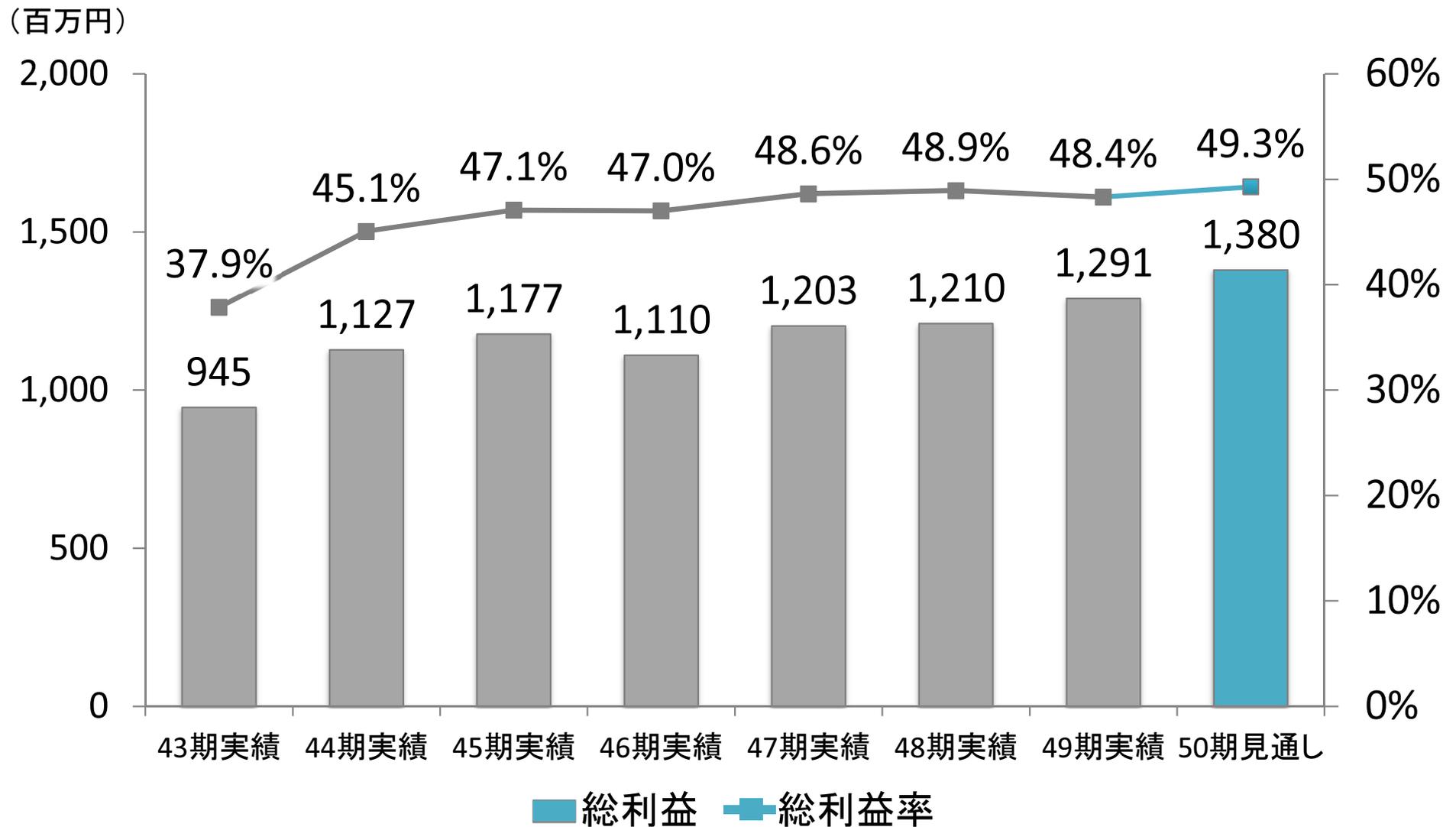
売上高28億円、営業利益は3期ぶりの2億円越えを目指す

第50期売上高



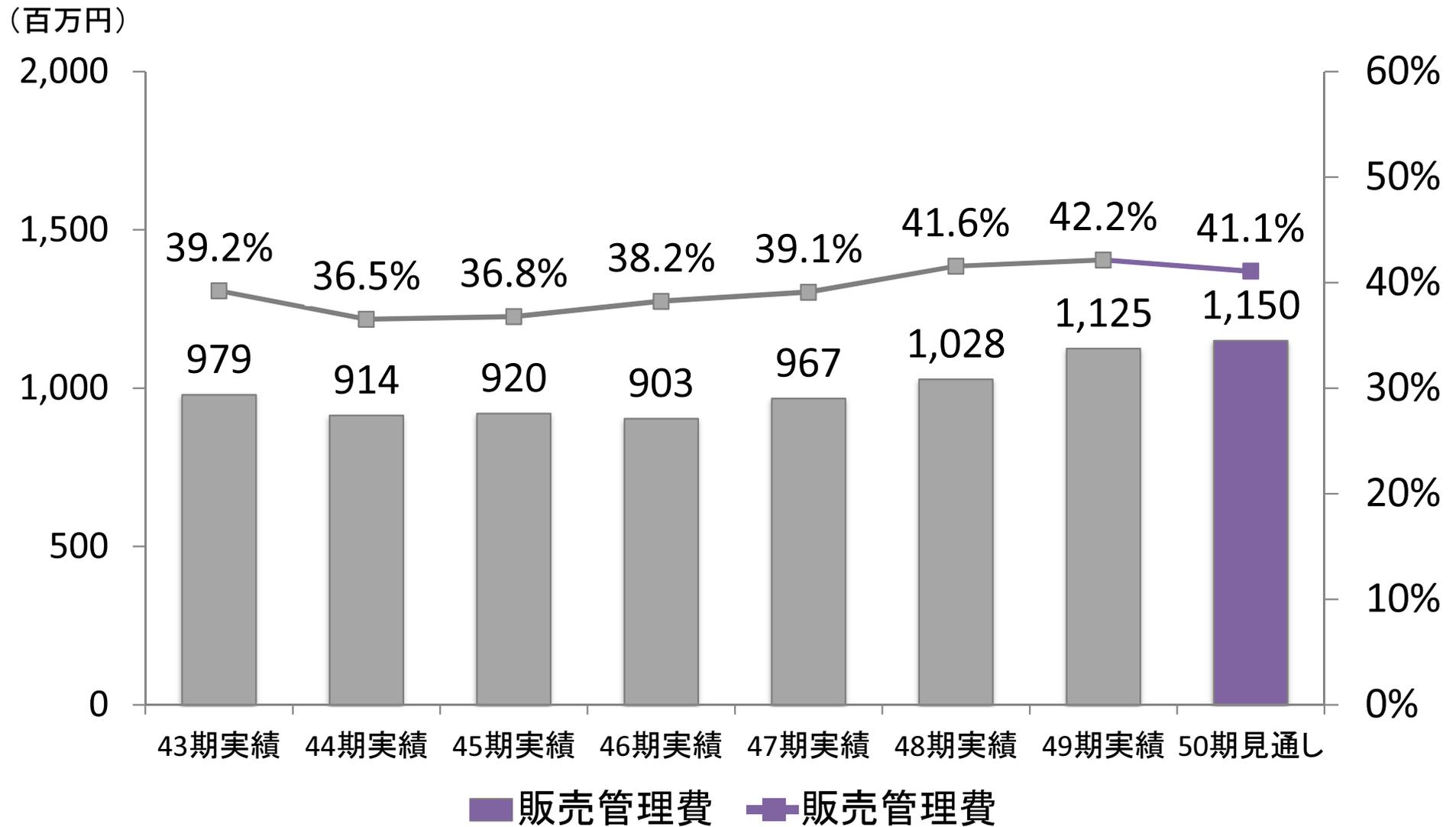
全セグメントにおいて増収、2期連続のプラス成長を目指す

第50期売上総利益



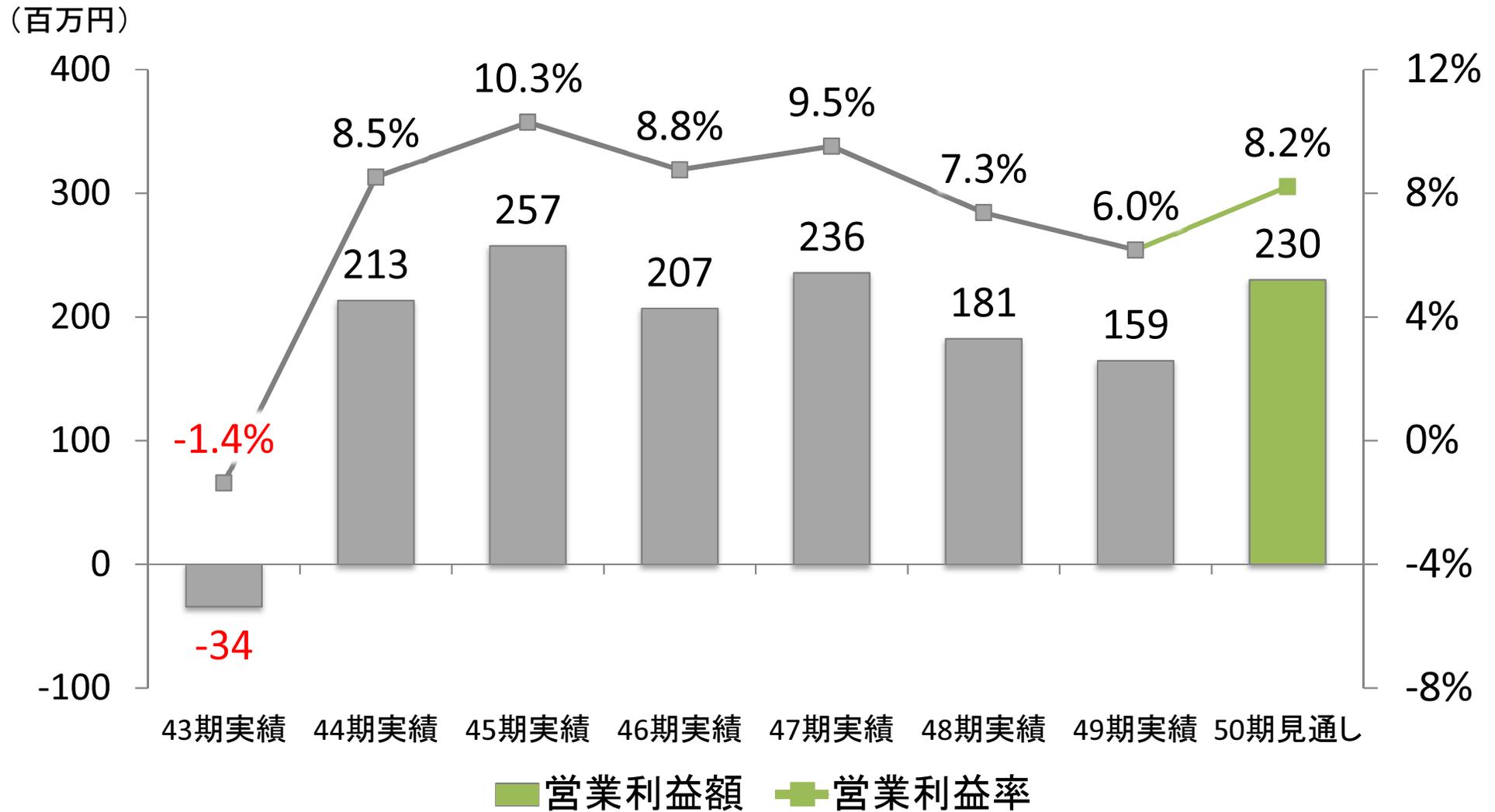
モノづくり力の進化により総利益額・率共に過去最高を目指す

第50期販管費



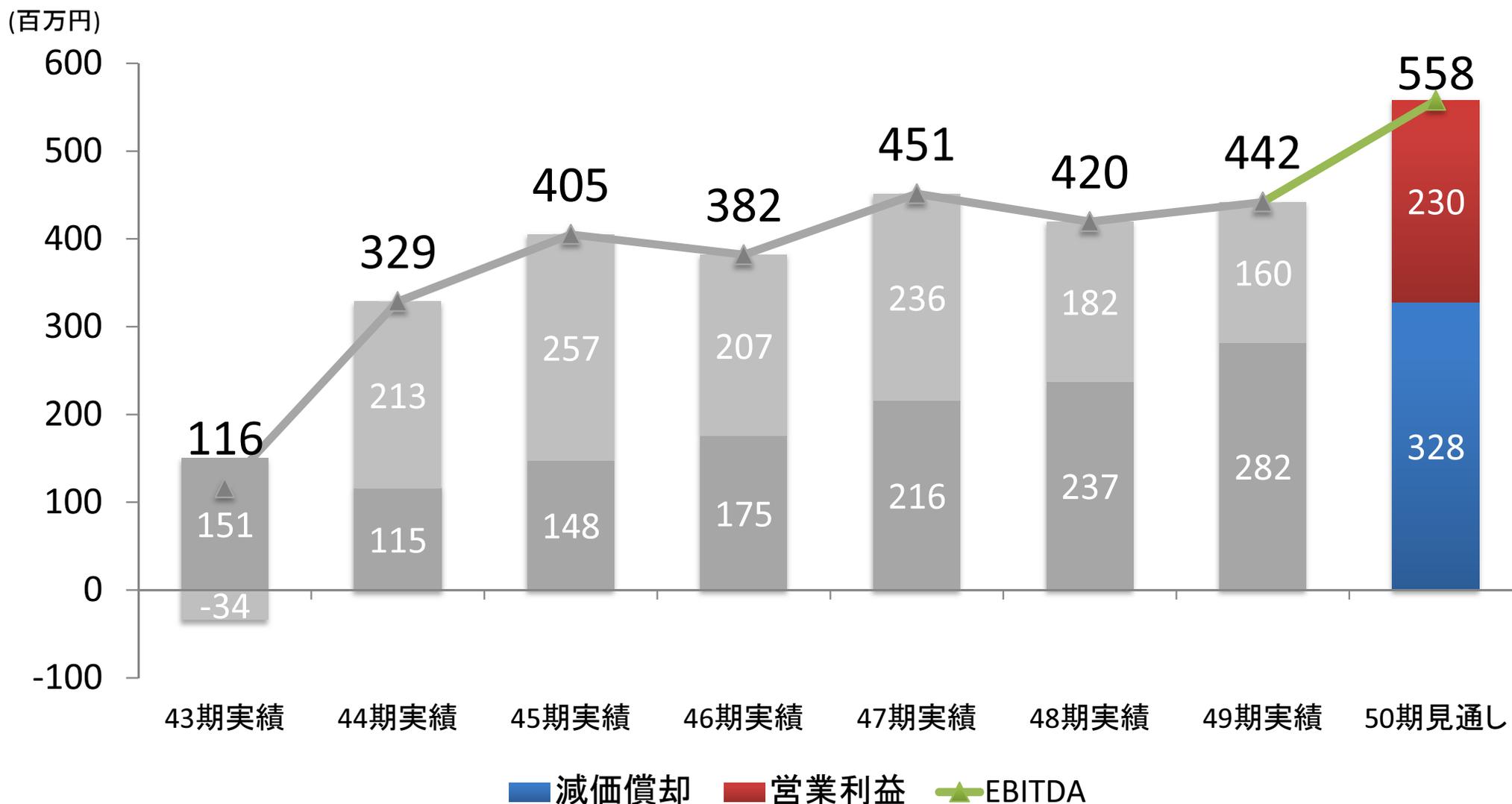
販管費は横ばい(2020年度以降の拡大成長に向けた整備が完了)

第50期営業利益



総利益額の増加、販管費の抑制により3期ぶりの増益
2億円越えを目指す

第50期EBITDA: 企業収益力

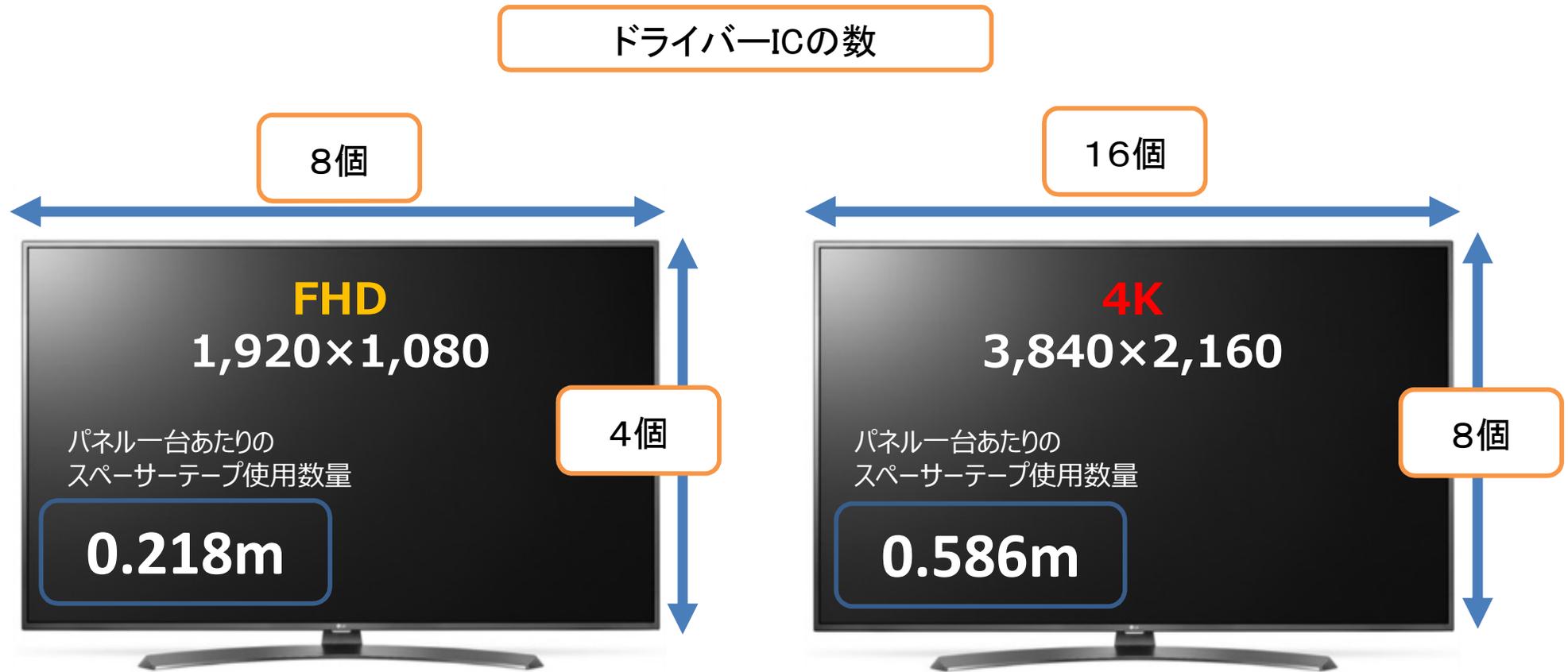


減価償却費を内包しながら営業利益を増加させる

半導体資材事業の 今後の展望と取組み

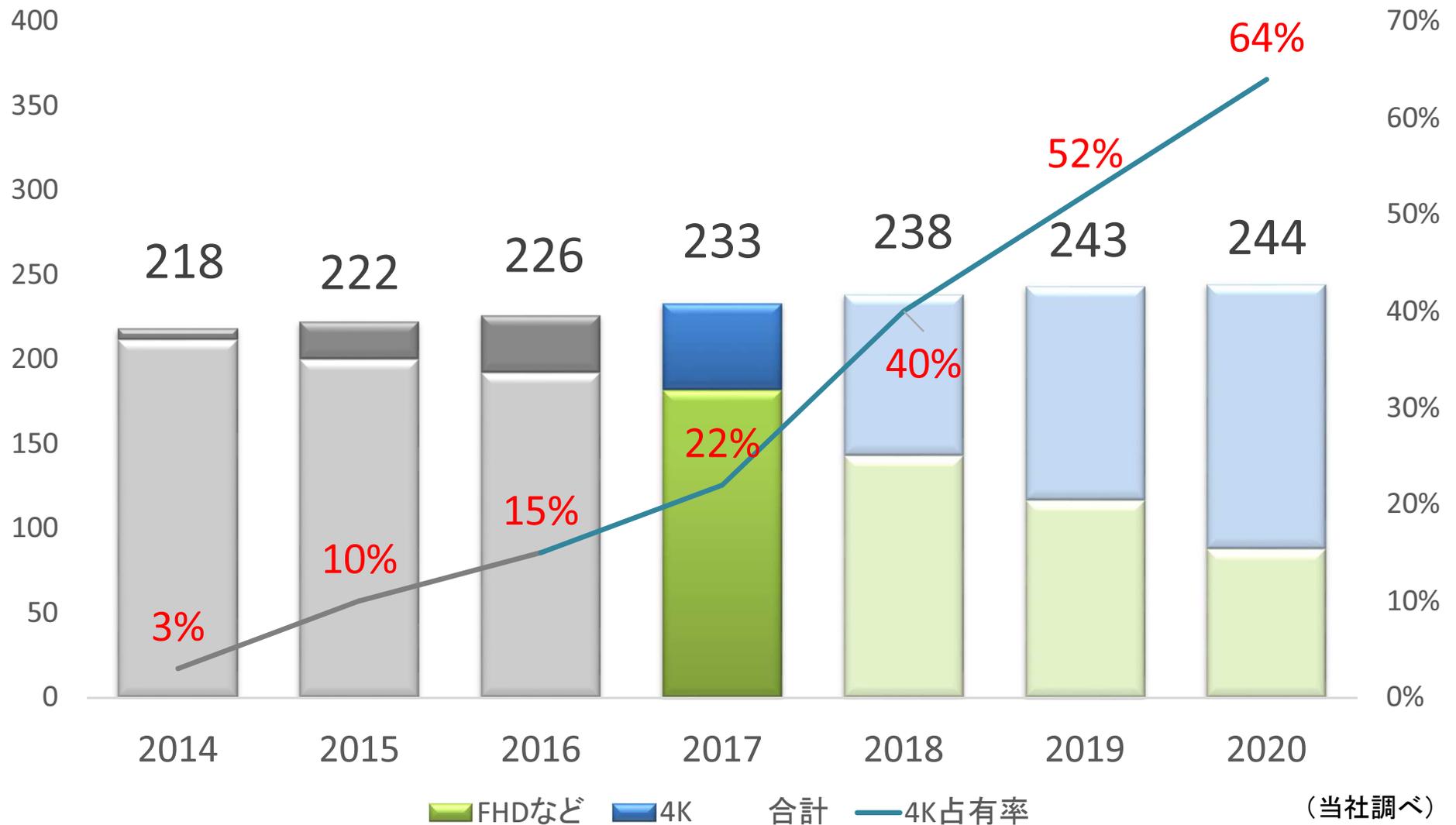
4Kテレビ普及に伴う旺盛な需要に対応するため、投資レスによる
大幅な増産体制を構築する

4Kテレビ普及に伴うスペーサーテープの需要増加



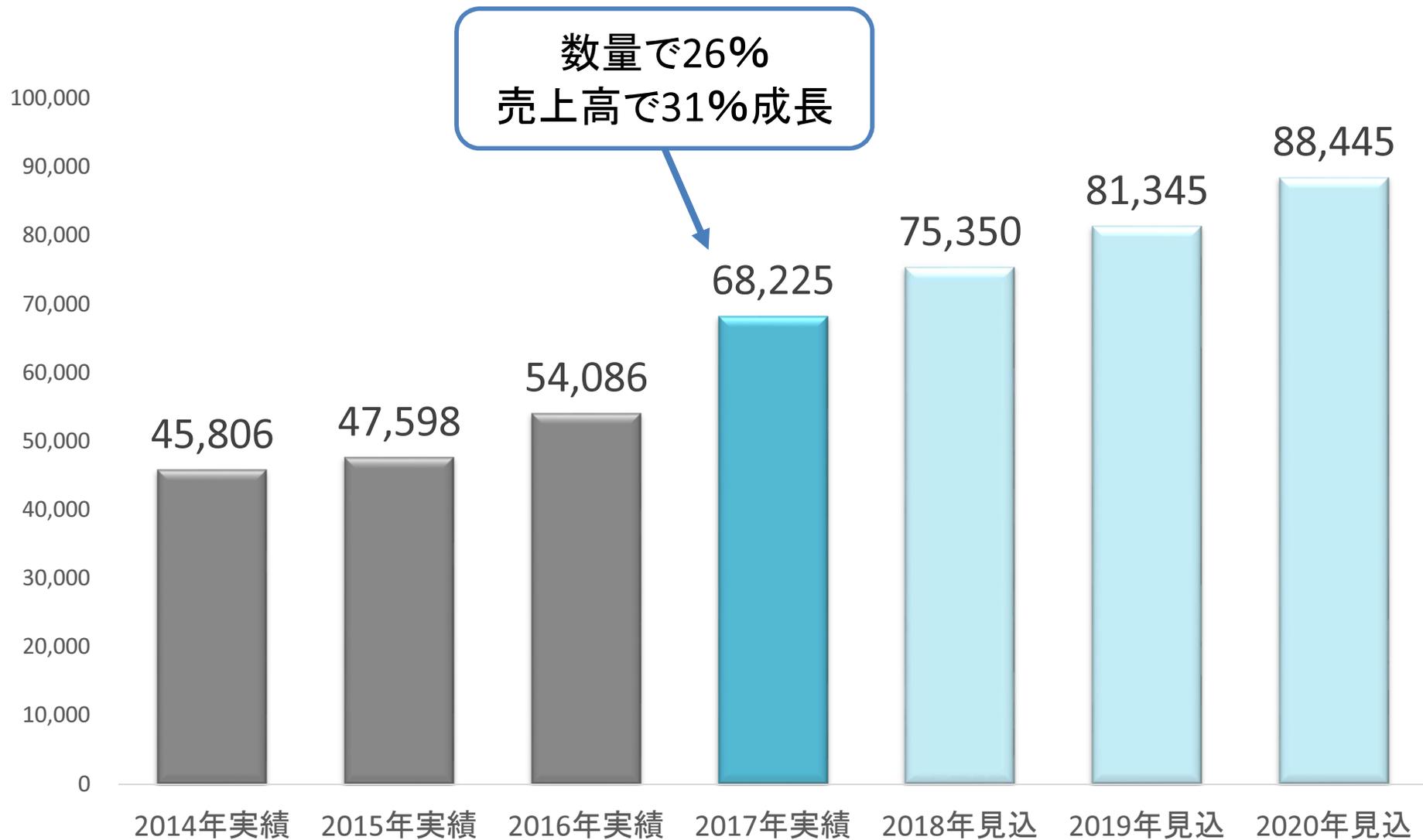
4Kテレビはフルハイビジョンテレビの2.7倍のスペーサーテープを使用

テレビ販売台数と4K比率(百万台)



液晶テレビの世界市場の年率成長は約3%、4K比率は2017年度ではまだ22%

スペーサーテープ出荷数量見通し(千m)

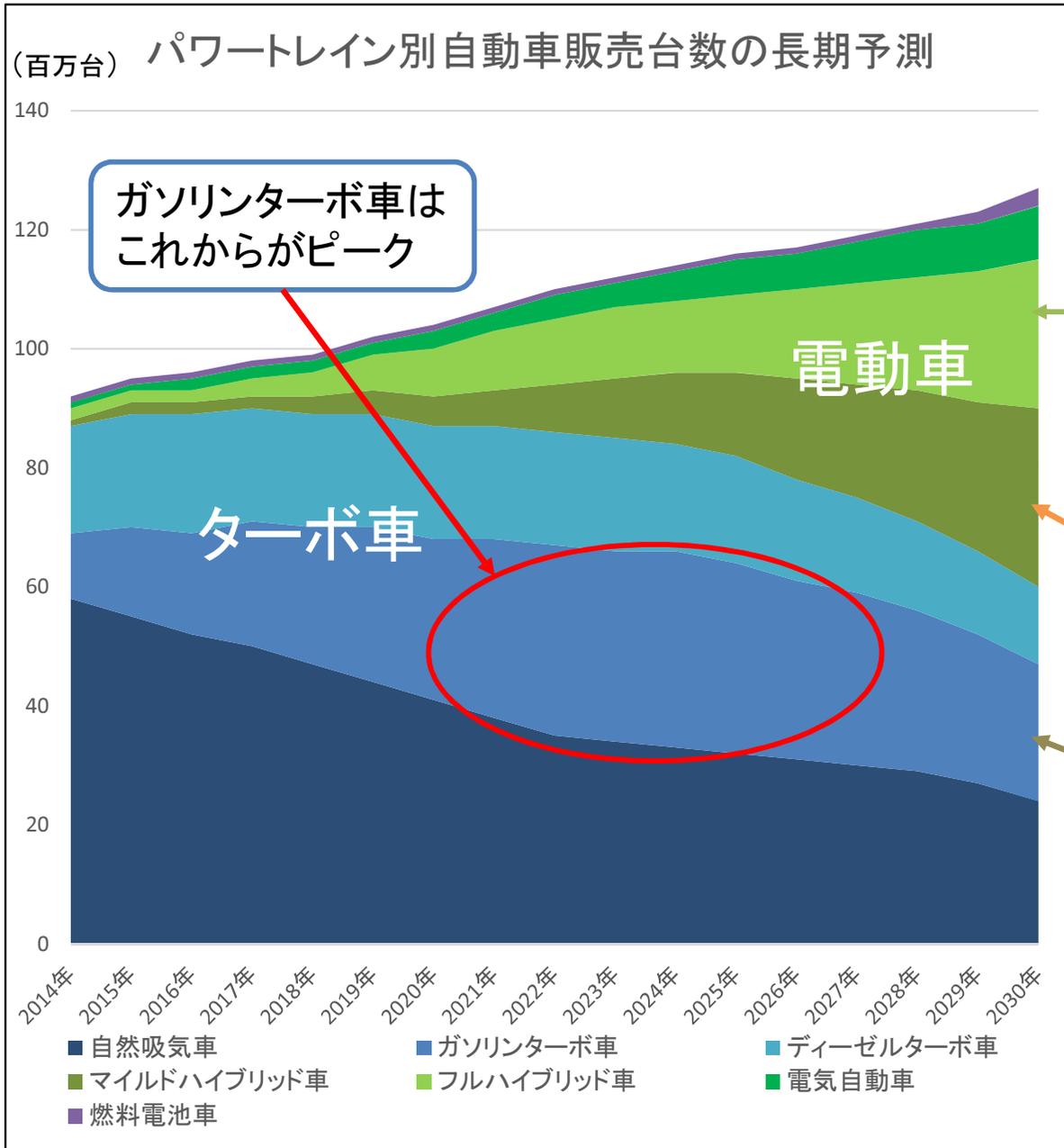


4Kテレビの普及に伴い、今後もプラス成長が当分続く見込み

PIM事業の今後の取組み

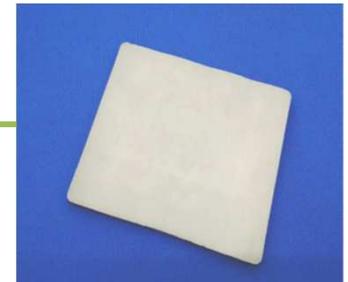
1. 拡大3大アイテム(ターボ部品・セラミックス放熱板・セラミックス球)の早期商品化
2. 全設備の立上げが完了し、直近のビジネスとして3大アイテム以外の営業活動を本格化(営業戦略企画部)⇒再び増収増益路線へ

パワートレイン別当社が狙うPIM製品



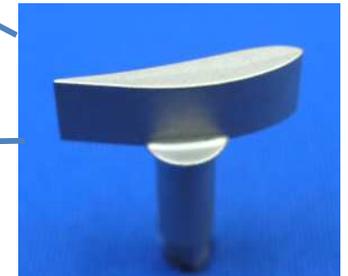
(当社予測)

対応製品



窒化ケイ素基板

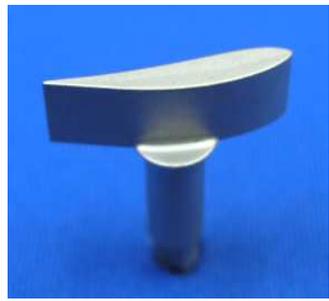
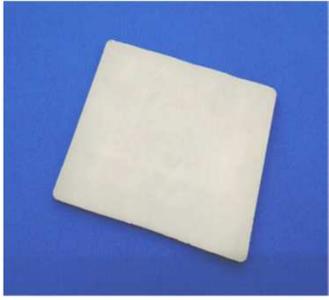
ガソリンVG
+モーター



ガソリンVG

ノズルベーン
1000°C対応

PIM3大アイテム50期技術開発テーマ

		用途	要求スペック	50期の活動(目標)
ノズルベーン		次世代ガソリンターボ ガソリンVG (Variable Geometry)	<ul style="list-style-type: none"> ・高温仕様 850°C~982°C ・安価新素材 (脱インコネル713C) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インコネル713C 982°C下のクリープ強度試験クリアを目指す ・インコネル713Cより安価な材料(Ni基、CO基含む)を提案
窒化ケイ素基板		自動車及び鉄道車両 放熱及び絶縁板	<ul style="list-style-type: none"> ・厚さ : 0.32mm ・熱伝導率 : 70w/mk以上 ・曲げ強度 : 700Mpa以上 	※2018/4左記要求スペックは合格 大手自動車メーカーを含め、次世代モデル搭載に向けた活動を加速
セラミックス球		<ul style="list-style-type: none"> ・鋼球に対し軽量かつ電蝕を嫌う工作機械やエアコンが主流 ・新たなアプリケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・素球→真球仕上げ 加工時間1/4 ・HIP(熱間等方圧加圧加工)処理レス ↓ 安価 	大手軸受メーカーでの最終実装試験合格を目指す

衛生検査器材事業の取組み

1. 2020年3月期売上高目標17億円(2桁成長)
2. 新設した営業戦略企画部により新規顧客開拓と受注の途切れた顧客を取り戻す

設備(造る)



全自動ライン+IoT



営業体制(売る)



職場環境の改善



カフェルーム

最強の生産ラインの整備・テレマーケティングチームの人材確保
造る！売る！ためのインフラ整備完了

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail:ir@atect.co.jp